

## 膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-FNA）後の穿刺経路腫瘍細胞播種（ Needle tract seeding ）の前向き全国調査

当院の研究責任者 (所属)	鈴木 慶一（栃木医療センター外科・部長）
他の研究機関およびの研究責任者	北野 雅之（和歌山県立医科大学 内科学第二講座・教授）
本研究の目的	膵腫瘍に対する EUS-FNA 後 Needle tract seeding の実態を 前向きに調査することで、より詳細な検討を実施したうえで、後ろ向き調査で得られなかった Needle tract seeding の年間発生率を検討すること及び発生要因および予後規定因子を解明することを目的とする。
調査データ 該当期間	倫理委員会承認後から三年間の登録期間中に、栃木医療センターにおいて、膵腫瘍に対し EUS-FNA を施行した患者さん、および後の経過中に Needle tract seeding を来した患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	栃木医療センターにおいて、対象症例に対して、EDC上で登録を実施する。患者背景、EUS-FNA関連の情報、外科治療・補助療法関連の情報、Needle tract seeding (NTS) 発生の有無、患者の予後をEDC上で入力する。
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、他の研究機関・研究責任者へ提供する。
個人情報の取り扱い	本研究に係る情報を取り扱う際には研究対象者の個人情報とは関係のない番号（識別コード）を付け、各研究施設の研究責任者の管理下に保管する。また、研究対象者と識別コードが連結できるよう対応表を作成します（連結可能匿名化）。作成した対応表は各研究施設の研究責任者が管理し、院外へ持ち出す事はいたしません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究への診療情報提供を希望されない方は、下記までご連絡ください。電話：028-622-5241(代) 担当：鈴木 慶一（栃木医療センター 外科・部長）